



本弘寺別院  
秦野市渋沢 1398-12  
TEL : 0463-82-9577  
✉ honkouji.wakka@gmail.com

寒さが一段と厳しくなりましたが、お変わりございませんでしょうか。

数年前にお寺の門扉脇に植えたツワブキは、いつも元気がなく枯れてしまうかなと心配していましたが、初めて花を咲かせました。物事は花を咲かせるだけが尊い訳ではありませんが、しかし感慨深いものがあります。

お釈迦様が諸行無常と教えて下さるように、今はなかなか上手くいなくても変われるんだと勇気を頂いた思いです。

これからも、皆さんに本弘寺があって本当に良かったと思っただけの寺院になる為に精進いたします。  
よろしく願い申し上げます。 合掌

### 修正会のご案内



仏さまの前で身を正し、あらためて自分自身を見つめ、一年を歩み出す新年の法要です。

とき **1月1日(日)**  
ところ **富鶴浄苑 2F 礼拝室**  
じかん **午前10時00分～11時00分**

**浄土真宗の「お正月」の迎え方**  
浄土真宗ではお仏壇(お内仏)に鏡餅をお飾りしますが、しめ縄や門松などは用いませ  
ん。お花も松の枝や千両などお正月らしいものを混ぜてみるのもいいかもしれません。

### 「除夜の鐘」

除夜の鐘は、何回つかれているか、ご存知でしょうか。実は108回つかれています。人間の煩惱は108つあると言われ、一年の罪を懺悔して、煩惱を除き新年を迎えるため大晦日に鐘をつくそうです。

しかしながら、浄土真宗のお寺でつく「除夜の鐘」は、まったく意味が違います。

お釈迦様は、人生を迷い苦しめる煩惱を、**怒り(地獄)・欲(餓鬼)・愚痴(畜生)**(三毒の煩惱)であると説かれました。いつも自己中心(自分の思い通りにしたい、自分を守りたい)というあり方です。

除夜の鐘を聞きながら私の心の中を静かにのぞいてみますと、煩惱が絶えず私を支配していることを認めざるを得ません。

親鸞聖人は、『無明煩惱われらがみにみちみて、欲もおおく、いかり、はらだち、そねみ、ねたむころおおく、ひまなくして臨終の一年にいたるまでとどまらず、きえず、たえず』と教えてくださっています。

そんな自分が見えてきたら『そんなお前だからこそ見捨てはしない、必ず救う』と呼びかけどおし願いどおしの阿弥陀さまの声が聞こえます。そこには安心のあたたかな人生がひらかれます。

南無阿弥陀仏

### こども仏教

## ブツダがせんせい

### あれもほしい、これもほしいと、心がふらふらするときは、「なくてもへいき」と思ってごらん

ほしくてたまらない物がある、なんどもねだったけれど、どうしても買ってもらえなかった、ということはないかな?なぜ買ってくれないのかと、かなしくなったかもしれぬ。

でも、そのあと、きみが本当にこまったことってある?

「ほしいほしい」と思った物も、本当は「なくてもへいき」なものだったかもしれないよね。

心というのは、ほうっておくと勝手に動いてしまい、心がふらふらしているときは、「あれがほしい、これもほしい」と、よくばりになってしまうんだ。

そんなときは「なくてもへいき」と自分に言ってみるといいよ。

子どもだけでなく大人の物欲・所有欲も歯止めがなくなると大変ですよ。心は常に変化して気ままに動くものです。それを理解している智者は「気まぐれな心を自ら抑えて心を守る」とブツダは言っています。心を整えるのに、外部からの刺激のない静かな時間を持つことが大事なようです。 坊守

### 丁度よい 藤場美津路さん作

お前はお前で丁度よい 顔も体も名前も姓も お前にそれは丁度よい  
貧も富も親も子も 息子の嫁もその孫も それはお前に丁度よい  
幸も不幸もよろこびも 悲しみさえも丁度よい 歩いたお前の人生は、  
悪くもなければ良くもない お前にとって丁度よい 地獄へ行こうと極楽へ行こうと  
行ったところが丁度よい うぬぼれる要もなく卑下する要もない 上もなければ下もない  
死ぬ月日さえも丁度よい 仏様と二人連れの人生 丁度よくないはずがない  
丁度よいのだと聞こえた時 憶念の信が生まれます 南無阿弥陀仏

この詩は、良寛さまが作った詩として知られていますが、実はお寺の坊守(奥さん)が作られた詩です。「私は寺に嫁いだけれど、三十年間は仏様を軽蔑していた。自分を知識人と思っていたから。今思えば好き勝手に、涙が出るような生き方をしてきた。それが、ある先生のご法話を聞いてから違ってきた。孤独な人生がよみがえった。変わるというよりも、高い所に居た者が下に降りたという感じ。仏様の智慧をいただいて、自分の中の地獄が見えた。心が落ち着いて、初めて寺の中に自分の坐る場所ができた」と藤場さんは振り返られました。仏さまは地獄・餓鬼・畜生(三毒の世界)に現れると言います。まさに自己中心の苦悩の中にいたからこそ、「凡夫よ」と阿弥陀さまの声が聞こえてきたのでしょうか。

### 年回忌表 平成29(2017)年

- 1 周忌 平成28年 (2016)
- 3 回忌 平成27年 (2015)
- 7 回忌 平成23年 (2011)
- 13 回忌 平成17年 (2005)
- 17 回忌 平成13年 (2001)
- 23 回忌 平成7年 (1995)
- 27 回忌 平成3年 (1991)
- 33 回忌 昭和60年 (1985)
- 50 回忌 昭和43年 (1968)

### 法話会のお知らせ

どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。(持ち物:お数珠 費用:お賽銭箱に100円～1000円程度を入れてください)

#### 今後の法話会スケジュール

- 1月1日14:00～ 富鶴浄苑
- 1月18日11:00～ 本弘寺別院
- 2月4日14:00～ 富鶴浄苑
- 2月18日11:00～ 本弘寺別院